

1. 日時 平成28年度(2017年)2月24日(金) 3校時
2. 対象 3年 (児童数43名)
3. 場所 多目的室
4. 題材 「ぼくのおべんとう」
5. ねらい
 - ・互いに他の人の意見を積極的に聴いて、その発言を評価し合う
 - ・対話の規則を守り、発言する
 - ・他の人の発言を正しく受け止める
 - ・他の人の意見を尊重し、対話を通し、協働して解決を追求すること

・様々な事象を、道徳的諸価値の理解を基に自己との関わりで多面的・多角的に捉え、自己の(人間としての)生き方について考える
6. 授業計画(全2時間)

第一時 「ぼくのおべんとう」を読んで、自分の考えを述べ、他の人の意見を聞いて、みんなで問いを作ろう。(本時)

第二時 みんなで選んだ問いについて議論し、最後に評価をしよう。
7. 本時の学習
 - (1) 目標 コミュニティボールを用いた対話によってお互いの意見を聞いて作品の理解を深める。
 - (2) 展開

学 習 活 動	指導上の留意点
1. 最初教師が児童に、アメリカの小学校の昼食の様子を紹介(3分) 2. グループで気がついたことを話し合っ発表してもらおう。(4分) 3. コミュニティボールを用いた対話のルールや進行の仕方を理解する。(1分) 4. 題材を教師が朗読する。(3分) 5. 題材について、自分たちの考えをグループで話し合い、発表する。(20分) この時、ビッグ・クエスチョンを示す。 「素晴らしいと思ったこと」 「不思議に思ったこと」 「気になったこと」 6. 第二時に向けて、問いを作る。(8分) 7. 振り返りシートの配布。その説明を受けて、記入する。(5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解を促す。 ・題材の内容を理解するための準備になるようにする。 ・授業中手をあげられない子に参加を促す。 ・この活動を通して、授業のやり方や、評価の仕方を思い出すようにする。 ・お互いの顔が見られるように輪になって座る。 ・ルール：ボールを持っている子だけが話す。 ・子ども達に自由にボールを回して多くの考えを話させる。 ・子ども達が意見を出しにくそうにしていたら、ボールを順番に回して話す機会をつくる。 ・これまでの対話を振り返らせる。 ・論点を明確にして、これから対話する問いを作る。

児童に問いかけるビッグ・クエスチョン

1. 「ぼくのおべんとう」を聞いていたとき、どんなことを考えましたか？
2. ぼくの行動や考えのうちで、素晴らしいと思ったものはありましたか？ それはどんな行動や考えですか？
3. ぼくの行動や考えのうちで、不思議に思ったこと／気になったことはありましたか？ それはどんな行動や考えですか？
4. ジョンの行動や考えのうちで、素晴らしいと思ったものはありましたか？ それはどんな行動や考えですか？
5. ジョンの行動や考えのうちで、好きでないものがありましたか？ それはどんな行動や考えですか？

なぜアメリカの小学校では、お昼のとき、ほとんどみんなサンドウィッチとジュースばかり持ってくるのだろう？

どうして、日本では、お母さんが、きれいなおべんとうをつくってくれるのだろう？

本当に日本では、お母さんが、きれいなおべんとうをつくってくれるのだろうか？

ぼくはスクールバスにのるときから、むねがわくわくしていたのだろうか？

ぼくはどうしてうれしくてたまらなかったのだろう？

ぼくは、ジョンからコガネムシを食べていると言われて、どうしてはずかしくなったのだろう？

そういう例は自分にはありますか？

どうして、ジョンは、ぼくのおべんとうにたいしていつもからかうのだろう？

ぼくは、どうして、ジョンにおせんべいを食べてみるかいと、きいたのだろう？

ジョンは、どうして、おにぎりを食べたかったのに、ぼくをからかっていたのだろう？

人はどうして素直に自分の考えをつたえることができないのだろう？

もしも お母さんが忙しくて お弁当を 作る時間が なければ、僕はどうしたと思いますか？

もしも私たちの小学校に 給食が なかったら どう いうことになると思いますか？

「ぼくのおべんとう」を読んで、問いを作ることができるかな？

- ・・・は、みんな同じでしょうか？
- ・・・は、・・・をすべきだったでしょうか？
- ・・・は、よいことでしょうか？
- ・・・が、・・・したことはふさわしいことでしょうか。
- ・・・が、・・・したことはどれくらいよかったでしょうか？
- ・・・は、・・・したとしたらもっとよかったでしょうか？

栄養教諭の先生に、日本では給食がどうして始まったのか聞いてみましょう。